

参考値

福島第一 2号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 (1 / 2)

(データ集約 : 9/18)

採取場所	2号機原子炉建屋上部① (ブローアウトパネル中央)		2号機原子炉建屋上部② (ブローアウトパネル下部)		2号機原子炉建屋上部③ (ブローアウトパネル中央) (大物搬入口閉止後)		2号機原子炉建屋上部④ (ブローアウトパネル下部) (大物搬入口閉止後)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成23年9月17日 10時05分～11時05分		平成23年9月17日 10時05分～11時05分		平成23年9月17日 14時43分～15時43分		平成23年9月17日 14時43分～15時43分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	1.9E-05	0.01	1.0E-05	0.01	6.4E-05	0.03	1.2E-05	0.01	2E-03
Cs-137 (約30年)	2.7E-05	0.01	1.1E-05	0.00	7.5E-05	0.03	2.3E-05	0.01	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

代表3核種の検出限界値は次のとおり。

揮発性のI-131が約8E-6Bq/cm³、Cs-134が約2E-5Bq/cm³、Cs-137が約2E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約4E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 2号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 (2 / 2)

参考値

(データ集約 : 9/18)

採取場所 ^{※4}	2号機原子炉建屋上部⑤ (ブローアウトパネル中央北向)		2号機原子炉建屋上部⑥ (ブローアウトパネル中央北向) (大物搬入口閉止後)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成23年9月17日 10時05分～11時05分		平成23年9月17日 14時43分～15時43分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	2. 1E-05	0. 01	4. 0E-05	0. 02	2E-03
Cs-137 (約30年)	2. 9E-05	0. 01	4. 9E-05	0. 02	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○. 〇E-〇とは、○. 〇×10^{-〇}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

代表3核種の検出限界値は次のとおり。

揮発性のI-131が約8E-6Bq/cm³、Cs-134が約2E-5Bq/cm³、Cs-137が約2E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約4E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

※ 中央の採取時に、サンプラの吸引口を、ブローアウトパネル開口部に対して垂直方向だけでなく、風の影響も検討するため水平方向(北向)にも向けて採取するため、サンプラを追加して同時に採取した。